

## 平成22年度 第4回うらやす市民大学運営委員会 議事要旨

日時 : 平成22年9月2日午後3時30分～5時

場所 : うらやす市民大学受講室

### 【出欠状況】

出席 : 古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、高橋委員、杉村委員、山本委員、東委員、武田委員、中山委員、織戸委員、伊藤委員（12名）

※ カリキュラム検討部会委員：高柳委員、宮澤委員、矢島委員、齊藤委員（市職員）

事務局：金子（昇）、永井、岩波、金子、一戸、林サポーター、仲澤サポーター

### 【資料】

資料1：平成22年度後期募集案内（案）

資料2：カリキュラム検討中間報告

資料3：受講生の地域アンケート調査（案）

授業出席票（案）

資料4：第3回運営委員会議事要旨

#### 1. 平成22年度後期募集案内（案）について

（結論） 現案どおりの「募集案内」とする。

（主な意見等）

- ・ コーディネーターのコメントや学生の声が掲載され、市民大学での学習イメージが分かりやすくなった。
- ・ さらに編集方法については工夫すること。（各授業科目ごとにシラバスやコメントなどをまとめた方がよい。）

#### 2. カリキュラム検討中間報告

事務局サポーターより、資料2を基に中間報告があった。

次の3点が決定事項である。

①建学の精神である「協働に資する人材育成」をカリキュラムの基本とする。

何故協働が必要か、協働が有効な分野は何かを理解する「浦安の自治と協働（市民大学へのプロローグ）」を共通科目として設定する。

コーディネーターは高柳委員で、市長公室の協力を得て科目を作る

②学期は通年制とする。

目的は、授業の出来ない空白期間を少なくするため。

③年間コマ数は、概ね250コマとする。

検討中の項目は、次の2点である。

①現在開講されていない分野の科目の設定について

「教育」「安全・防災」「環境」の各分野について、どのようなシラバスを作ることが可能か検討中。

②現在開講中の科目の評価。

報告を受けての意見・議論は次のとおり。

- ・「協働のプロセス」と有るが、少々難し過ぎると思う。このような硬い言葉は、一般的に受け入れられ辛いと思う。
- ・普通の在校生は、ここまで（協働に資する）の問題意識を持って入学したとは思えない。現に、自分も持っていない。
- ・何となく「敷居」が高くなった感じがする。違和感が有る。

事務局サポーターより、

- ・正確な説明を目的として明確な用語をしたため少々表現が硬くなったが、募集案内など実際に表現する場合は、もう少し分かり易い表現に変えたい。
- 具体的には、一般的に分かり辛い「協働」という言葉を、他の分かり易い表現に置き換えたいと考えている。

### 3. その他

(1) 授業出席票（案）について

前回の会議で、委員から指摘があったとおり、出席表とアンケートは分けた方がよい。早速、実施することとした。

(2) 受講生の地域アンケート調査について

内容を精査し、シンプル化（今回の調査目的のみ、設問する）して実施することとした。

### 5. 事務連絡

- ・次回運営委員会 11月10日（水）15時～ 市民大学受講室

以上